

研究協力をお願い

《課題名》

An International survey of continuous subcutaneous infusions: is there an unmet need for extended infusions 48 hours and beyond? [SCUTI48]

持続皮下点滴に関する国際共同調査研究

《研究対象者》

2024 年 1 月以前に当院にて、持続皮下点滴を受けた患者

研究協力をお願い

本研究は、英国、オーストラリア、ドイツ、アイルランド、ニュージーランド、そして日本の国際共同試験です。

持続皮下注射は一般的に 24 時間以内投与が終了しますが、最近是在宅での使用も増え 48 時間を超えて使用することが増えてきています。

本研究では、長時間にわたる持続的投与の安全性を検討する、基礎となるデータの収取を目的としています。

① 情報の利用目的及び利用方法

・ 方法

本研究は、薬剤科で行い、該当する患者さんを対象者として REDCap に登録し、診療情報を診療録から取得します。調査期間中に持続皮下投与を実施された患者さんの年齢などを記録します。

・ 調査項目

患者背景（年齢 18 歳以上、以下）、継続日数、注射薬の組成

・ 分析方法

REDCap に登録し 48 時間以上の現状を調査する。

・ 個人情報の取り扱い

本研究で取得する要配慮個人情報とは別の研究番号を各症例に割り付け、患者の個人情報は匿名化した上で、解析を行う。

・ 実施場所

市立芦屋病院 薬剤科

・ 予定症例数

約 150 例

② 利用し、又は提供する情報の項目

患者背景（年齢）、投与日数、注射薬の組成

③ 利用する者の範囲

研究の実施体制

実施責任者 薬剤科 岡本 禎晃

④ 情報の管理についての責任を有する者の氏名又は名称

実施責任者 市立芦屋病院 薬剤科 岡本 禎晃

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

研究対象者となる方又は代理の方で、本研究への情報の利用にご賛同頂けない場合は、情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には下記⑥にご連絡ください。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

当院：電話番号 0797-31-2156、市立芦屋病院 岡本 禎晃